

【2021 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
福祉心理学専門演習Ⅲ		必修	2	4	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
渡邊 隆文 他	B307	t.watanabe	水曜日 12:10~13:00		
授業の目的・概要	<p><目的> 社会福祉を取り巻く社会状況、社会環境について文献や研究論文を通して理解し、専門職の専門性について理解するとともに自己理解を深め、自身が目指す方向性を整理することを目的とする。</p> <p><概要> 対面授業を通して、これまで学習してきた科目の総合学習を中心に、社会福祉士、精神保健福祉士になるために必要な知識、技術、価値を理解し、専門職としての知識の定着を図る。併せて、キャリア形成に向け、今までの学びを踏まえて発表や意見交換を通じて理解を深める。</p>				
学 習 上 の 助 言	社会福祉学に関連するすべての科目について復習をおこなっておくこと。				
教 科 書	特に指定しない				
参 考 書	特に指定しない				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	社会福祉専門職に必要な総合的な知識を身につけることができる。		HSU(2)、(6)、WP (5)		
②	社会福祉分野の諸問題について理解できる。		HSU(6)、WP (5)		
③	自分と他人との価値観・考え方の違いを理解し、説明できる。		HSU(6)、WP (3)、(4)		
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	オリエンテーション 授業の全体像、流れについて説明を行う。	講義	授業全体像の復習。	4	
2	社会福祉学の概要を整理 社会福祉学の関連科目の整理を行う。	講義・演習	授業内容の振り返りと次回に向けての準備を行う。	4	
3	社会福祉学の概要の理解(1) 社会福祉学の関連科目について理解を深める①	講義・演習	授業内容の振り返りと次回に向けての準備を行う。	4	
4	社会福祉学の概要の理解(2) 社会福祉学の関連科目について理解を深める②	講義・演習	授業内容の振り返りと次回に向けての準備を行う。	4	
5	社会福祉学の概要の理解(3) 社会福祉学の関連科目について理解を深める③	講義・演習	授業内容の振り返りと次回に向けての準備を行う。	4	
6	キャリア心理学(1) 自己理解について学ぶ①	講義・演習	授業内容の振り返りと次回に向けての準備を行う。	4	
7	キャリア心理学(2) 自己理解について学ぶ②	講義・演習	授業内容の振り返りと次回に向けての準備を行う。	4	
8	キャリア心理学(3) 自己理解について学ぶ③	講義・演習	授業内容の振り返りと次回に向けての準備を行う。	4	
9	社会福祉学の全体像の把握(1) 科目を越えた社会福祉学全体像について理解を深める①	講義・演習	授業内容の振り返りと次回に向けての準備を行う。	4	
10	社会福祉学の全体像の把握(2) 科目を越えた社会福祉学全体像について理解を深める②	講義・演習	授業内容の振り返りと次回に向けての準備を行う。	4	
11	社会福祉学の全体像の把握(3) 科目を越えた社会福祉学全体像について理解を深める③	講義・演習	授業内容の振り返りと次回に向けての準備を行う。	4	
12	社会福祉学の全体像の把握(4) 科目を越えた社会福祉学全体像について理解を深める④	講義・演習	授業内容の振り返りと次回に向けての準備を行う。	4	
13	社会福祉学の全体像の把握(5) 科目を越えた社会福祉学全体像について理解を深める⑤	講義・演習	授業内容の振り返りと次回に向けての準備を行う。	4	
14	社会福祉学の全体像の把握(6) 科目を越えた社会福祉学全体像について理解を深める⑥	講義・演習	授業内容の振り返りと次回に向けての準備を行う。	4	
15	総括	講義・演習	これまでの授業内容を各自で整理する。	4	
試					

【2021 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		0	0	0	70	30	
総合 力 指 標	知識・技術力	0	0	0	30	0	30
	思考・推論・創造する力	0	0	0	30	0	30
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	10	10
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	10	20	30
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①	✓	講義ごとに配布する課題のレジュメを時間内に取り組み。課題の進捗状況、達成度によって評価を行う。				講義の終了時に、内容と到達度についてコメントする。
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	講義中に理解を深めるために受講生間のディスカッションを実施する。講義をただ受ける受動的な姿勢でなく、積極的に学ぶ姿勢であるかを評価する。				講義中に総評を行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
<p>学生は必ずいずれかの教員のクラスに所属すること。 担当教員：◎渡邊 隆文、梅沢 佳裕、田村 正人</p> <p>大学が公表している感染症対策および教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合は面接授業の参加を認めない。 なお、今後の新型コロナウイルス感染症の社会情勢によって再度シラバスの変更が行われることもある。</p>							